

事項一一「ブラジル」移民関係雑纂

三八五 一月六日

田中通商局長ヨリ
警視総監北海道長官各府県知事（東京府ヲ除ク）宛

伯国行夫婦自由移民ノ渡航許可方取扱ニ関スル件

附記 大正九年十二月十四日在サンパウロ藤田総領事

発内田外務大臣宛電報第四二号

通三合送第四号

伯国サンパウロ州行夫婦自由移民取扱ニ関スル件

本件ニ関シ客年六月五日附通三合送第六六九号ヲ以テ御通知申進置候処今回海外興業株式会社ノ取扱ニヨリ客年十月中土佐丸ニテ伯国へ渡航シタル移民ニシテ第一回夫婦自由移民ハ十家族其ノ人員二十五人（広島県二家族石川県一家族熊本県一家族長野県四家族東京一家族静岡県一家族）ニテ其大部分ハ農業ノ経験ナク中ニモ四家族ハ会社社員、指物職、植木職等ニテ旅券面ノ自由移民タルヲ口実トシテ到着後直ニ自由行動ヲ執リ其儘サンパウロ市ニ留マルコトトナリ又他ノ六家族ハ一旦ハ耕地ニ赴クコトトナリタルモ将来

第四二号

（大正九年十二月二十一日接受）

往電第二一号ノ無補助家族移民ハ元ヨリ農業ニ従事スベキ純農者ニ限ラルベキ次第ナル処今回土佐丸ニテ渡来セル無補助家族移民ノ大部分ハ農業ノ経験ナク右ノ内四家族（会社社員指物職植木職等）ハ旅券面ノ自由移民ナルヲ口実トシテ到着后直チニ自由行動ヲ執リ其儘 São Paulo 市ニ残ルコトトナレリ又他ノ六家族ハ此際兎ニ角耕地ニ赴クコトトナリタルモ将来農業ニ従事スルノ覚悟ナキモノノ如シ之等ノモノハ同船ノ契約移民ニ惡影響ヲ及ボスノミナラズ且從來ノ例ニ鑑ミルニ都会ノ生活ニ憧ルル結果惡風ニ感染シ将来浮浪ノ徒トナリ甚シキハ其ノ妻ヲシテ醜業ニ従事セシムルノ虞アリ現ニ近來此ノ種好マシカラザル輩増加シツツアル次第ニ有之必ズ排日原因ヲナスベク頗ル寒心ニ堪ヘザル次第ニ付無補助移民ハ特ニ嚴重ナル身元調査ヲ行ヒ相當資力アル純農者ニ限り許可セラルルカ若クハ当分許可ヲ中止セラルル方可然ト思考ス

右御考慮ノ上何分ノ儀電報ヲ請フ

三八六 一月六日

田中通商局長ヨリ
神山海外興業株式会社社長宛

一一「ブラジル」移民関係雑纂 三八六

農業ニ従事スル覚悟ナキ懸念アリ是等ノ者ハ同船セル契約移民ニ惡影響ヲ及ボスノミナラズ本人自身ニ在リテモ従前ノ例ニ徴スルニ都会ニ生活スル為メ其ノ惡風ニ感染シ浮浪ノ徒トナリ甚敷ハ其ノ妻ヲシテ醜業ニ従事セシムル境涯ニ陥ル者アリ現ニ近來此種好マシカラザル輩増加シツツアルニ由リ必ズ排日原因ヲ為スベク頗ル寒心ニ堪ヘザル次第ナル旨在サンパウロ藤田総領事ヨリ当省へ電報有之候ニ付純農者ヲ精撰スル必要上客年二月七日附通三機密合送第五二号当省次官通牒左記丙（一）ノロ、ニ拘ラズ伯国サンパウロ州行夫婦自由移民ニ在リテハ現在貴庁へ出願中ノ者アラバ其ノ分ヨリ総テ本人ノ身元就中農業經歷ノ有無等詳細御調査ノ上之ガ渡航許可方ニ関シ願書、内偵書類ヲ一括シテ当省へ送付シ御協議相成度此段申進候也

（附記）

大正九年十二月十四日在サンパウロ藤田総領事発内田外務大臣宛電報第四二号

無補助家族移民渡航許可ノ取扱方ニ関シ意見具申ノ件

伯国行夫婦自由移民ノ渡航許可ハ純農業者ニ

限ルベキ旨及右許可ノ取扱方ニ関シ通達ノ件

通三送第三号

大正十年一月六日

田中通商局長

海外興業株式会社社長 神山間次宛

伯国行夫婦自由移民ニ関スル件

今回土佐丸ニテ伯国サンパウロ州ニ渡航セル無補助家族自由移民ノ大部分ハ農業ノ経験ナク中ニモ四家族ハ会社社員指物職植木職等ニテ旅券面ノ自由移民タルヲ口実トシテ到着後直ニ自由行動ヲ執リ其儘サンパウロ市ニ留マルコトトナリ又他ノ六家族ハ一旦ハ耕地ニ赴クコトトナリタルモ将来農業ニ従事スル覚悟ナキ懸念アリ是等ノ者ハ同船セル契約移民ニ惡影響ヲ及ボスノミナラズ本人自身ニ在リテモ従前ノ例ニ徴スルニ都会ニ生活スル為メ其ノ惡風ニ感染シ浮浪ノ徒トナリ甚敷ハ其ノ妻ヲシテ醜業ニ従事セシムル境涯ニ陥ル者アリ現ニ近來此種好マシカラザル輩増加シツツアルニヨリ必ズ排日原因ヲ為スベク頗ル寒心ニ堪ヘザル次第ニ付無補助家族自由移民ハ特ニ嚴重ナル身元調査ヲ行ヒ相當

資力アル純農者ニ限り許可スルカ若クハ当分許可ヲ中止スルコトニ詮議セラレ度旨在サンパウロ藤田総領事ヨリ当省へ電請有之候本件ニ関シテハ去ル六月四日附ニテ貴会社ヨリ該自由移民ノ取扱方ヲ願出デラルルニ方リ応募者ハ夫婦共農業労働者ナルコトヲ必要事項トナシ居ラルルニ拘ハラズ農業労働ニ経験ナキ者ヲ渡航セシメラレタルハ少クトモ募集ノ疎漏ナリシ責ハ免レ難シト認メラレ候ニ付向後十分御注意相成度尚今後伯国行夫婦自由移民ニ付テハ純農業者精選ノ為メ各人ヨリ渡航許可方ヲ地方庁へ出願セル際ハ其身元ヲ調査シ地方庁ヨリ当省へ協議シタル上処決スルコトニ其取扱方ヲ改メ候ニ付右ニ御承知相成度候也

三八七 一月七日 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛(電報)

伯国行夫婦自由移民渡航許可ノ取扱方ニ関シ

回電ノ件

第一号

貴電第四二号ニ関シ

サンパウロ州行夫婦自由移民ノ出願ニ関シテハ向後地方庁ニ於テ其身元殊ニ純農者ナルヤ否ヤ嚴重ニ調査ノ上一々

リハ当国ニ於ケル商業事情等問合セ来ル者近来漸次増加シ来レリ依而右等ニ対シ夫レ夫レ概略ハ答ヘ置キ候ヘ共トテモ一々詳細ニ回答スルヲ得ザル次第ナリ就テハ此迄当館ヨリ提出セル右等事情ニ関スル報告書例ヘバ昨年七月二十六日附通公第五一号伯国北部産業通商情況並昨年九月二十日附通公第六一号「ミナス州本邦移民情況」及本年一月十八日附政機密第一号「人種ノ異同ニ基ク排日感情ハ伯国ニモ存在スルヤ否ヤノ調査」(御印刷ノ際ハ北米ニ関スル事項ヲ削除ス可キハ勿論ナリ)等御印刷相成リ内地ニ於ケル各商業會議所等ヘハ勿論広ク在北米日本人団体等ヘモ可然御配布方御取計相成候ハバ本邦諸商店ノ伯国ニ於ケル企業及在米本邦人中伯国移住ヲ志スモノノタメ指針ノ一助トモ相成ルコトト被存候依テ右申進候 敬具

三八九 二月二十六日 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛

伯国官憲ニ対スル出生其他戸籍上ノ届出及児

童ノ教育方針等ニ関スル諭告ノ継続実行方ニ

付指示ノ件

附 記 大正九年七月二十五日附在サンパウロ野田総領

一一「ブラジル」移民関係雑纂 三八九

通商局長ヘ書類ヲ送付シ協議ノ上許可スルコトニ其取扱方ヲ改メ其ノ結果如何ヲ試ミルコトトセリ

三八八 一月三十日 在伯国堀口公使ヨリ
内田外務大臣宛

伯国ニ於ケル本邦移民事情及農商工業等ニ関スル報告書ヲ印刷ノ上各方面ヘ配布取計方稟請ノ件

通公第一三号 (三月二十五日接受)

大正十年一月三十日

在伯

特命全權公使 堀口 九萬一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

伯国ニ於ケル本邦移民事情並伯国農工

商業等ニ関スル当館報告書等御印刷ノ

上広ク御配布方申請ノ件

北米加州排日運動ノ益々激甚ナルニ随ヒ南米特ニ伯国ヘノ移住ヲ思ヒ立チ候者少ナカラズト見エ近頃在米本邦人並ニ其ノ団体ヨリ当館ニ向ケ伯国ニ於ケル農産業並ニ労働事情ヲ問合セ来ル向少ナカラズ然ルニ他方神戸大阪辺ノ商店ヨ

事代理宛内田外務大臣宛通公第一六一号

伯国官憲ニ対シ出生其他届出方並児童教育方針

等ニ関シ諭告シタル件

通三送第六号

伯国官憲ニ対シ行フ出生其他届出並児童教

育方針等ニ関スル諭告実行方ノ件

本件ニ関シ客年七月二十五日附通公第一六一号ヲ以テ前任野田総領事代理ヨリ具申ノ次第有之候処該諭告ハ時宜ニ適シ其ノ内容亦妥当ナリト認メラレ候ニ付向後ニ於テモ其ノ趣旨ヲ貫徹実行セラルル様致度右ニ就テハ貴地在留邦人ヨリ出生死亡等ニ関スル届出ヲ貴館ニ於テ受理セラルルトキハ其際本人ニ対シ伯刺西爾國ノ法令ニ從ヒ成規ノ期限内ニ其ノ在留地ノ役場ニモ届出ヲナスヲ要スル旨一々御指示相成度又戸籍關係ノ届出ヲ怠ルハ自身ニテ之ガ手続ヲ為シ得ザルニ因ル場合多ク殊ニ外国文ヲ以テ届出ヲ為ス如キハ一般在留者ニ在リテ至難ノ義ト存ゼラレ候ニ付書類作成方ニ付相当援助ヲ与フルノ途ヲ立ツル等本件諭告ノ実行方ニ付可然御配慮相成度此段申進候也

追テ本信及諭告写在伯堀口公使在「リベイロン、プレート」

分館主任及「パウロ」領事へ御送付相成度候

(附記)

大正九年七月二十五日附在サンパウロ野田総領事代理発内田

外務大臣宛通公第一六一号

伯国官憲ニ対シ出生其他届出方並児童教育方針等ニ関シ諭告

シタル件

通公第一六一号

大正九年七月二十五日

在サンパウロ

総領事代理 領事 野田良治(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

伯国官憲ニ出生其他届出方並児童

教育方針ニ関シ諭告シタル件

「サンパウロ」州ニ於ケル本邦医黙認開業ノ件ニ関シ過般
来両三回当州新内務長官「ドクトル」「アラリコ、シルヴ
エイラ」氏ト会谈致シ候際同長官ハ「サントス」港ヨリ
「サント、アントニオ、デ、ジュキアー」ニ到ル南部「サ
ンパウロ」鉄道沿線地方ニ定着シテ農業ニ従事セル日本人
可ナリ多数ニ上リ而シテ其ノ大部分ハ家族移民ナルヲ以テ

縄県人会ノ首脳者ヲ当館ニ呼出シ先ツ

(一)当国在留中ハ当国ノ法律規則ヲモ遵守スヘキ義務アルコ

ト

(二)戸籍ニ関スル届出就中出生(死亡ハ埋葬許可ヲ得ルノ必
要上大抵届出ヲ履行シ居レリ)ノ届出ハ本人ノ利益ノ為
ニモ之ヲ実行セサルヘカサルコトヲ説示シ尚序ヲ以テ

(三)当国ニ於ケル児童ノ教育ハ当国語ヲ以テ之ヲ行フヲ得策
ト思考スルコト(此ノ外国移住民ノ児童教育方針ニ関シ
テモ内務長官ト懇談的ニ意見ヲ交換致シ候)

(四)伯国ノ風俗習慣ヲ尊重シ当国人ヲシテ不快ヲ感セシムル
如キ故国ノ風習ハ決シテ之ヲ露出スヘカラス且徒ニ本邦
人ノミ一隅ニ孤立分居シテ当国人カ本邦人ヲ排斥スルノ
前我先ツ彼ヲ除外セントスルカ如キ行動ヲ慎マサルヘカ
ラサルコト及

(五)土地ヲ所有シ若ハ借地契約ニヨリ独立シテ農業ニ従事セ
ル本邦人ハ必ス之ヲ届出テサルヘカラス然ラサレハ啻ニ
当館々務ノ進捗ヲ妨害スルノミナラス結局本人ノ不利益
トナルヘキ

旨ヲ別紙ニ記載セル梗概ヲ布衍シテ懇々説諭シタル上同輩

小児ノ出生モ相当ノ数ニ達セル筈ナルニ拘ハラズ此等日本
移民ハ一向当該官憲ニ対シ出生ハ勿論婚姻其他戸籍ニ関ス
ル届出ヲナサザル旨同地方ヲ管轄セル司法官憲ヨリ当省ニ
苦情ノ申出アリタルカ右戸籍ニ関スル届出ノ不履行ハ一面
州ノ行政処理上ニ多大ノ不便ヲ醸スノミナラス当事者ノ為
ニモ早晚不利益ヲ生スルハ明ナレハ何トカ適當ナル方法ヲ
採ルコトト致シ度キ旨懇談的ニ申出有之候ニ付小官ハ当州
在留帝国臣民ヲシテ当国ノ法令ヲ忠実ニ遵守セシムルコト
ハ当総領事館ニ於テモ元々希望セル所ナルヲ以テ然ルヘキ
方法ヲ以テ同地方在留日本人ニ対シ篤ト諭告ヲ試ムヘキ旨
返答致シ置キ候而シテ同地方在留本邦人ハ大部分沖縄県人
ニシテ「アンナディヤス」「イタリリー」兩駅間ニ在ル者
百数十家族ノ外近來「イタニヤイン」駅ヨリ数里ノ奥ナル
「リオブランコ」ニ移住セル者亦百家族内外アリテ此等移
民ハ或ハ当国法令ヲ知ラサル為或ハ面倒ヲ嫌フカ為或ハ当
国戸籍役場ニ出生ノ届出ヲナストキハ帝国臣民タルノ分限
ヲ喪失シ永久本国ニ帰還スル能ハサルニ至ルヘシナト全ク
無用ノ危懼ヲ懷クカ為大抵届出ヲ為ササル事実アルコトハ
予テ聞及ヒ居リタル次第モ有之候ニ付早速兩地ニ於ケル沖

ニ対シ右諭告ノ趣旨ヲ誤解ナキ様伝達セシムル目的ヲ以テ
別紙諭告書写一通ツツ夫々交付致シ置キ候

右諭告ノ如キハ少シク教育アル者ニハ故ラニ当館ヨリ之ヲ
与ヘストモ各自常識ヲ以テ判断シ得ラルル所ニ有之候ヘ共
移民階級殊ニ沖縄県民ノ如キハ数回繰返シテ斯カル訓示ヲ
施ササレハ到底之ヲ了解スル能ハス若シ之ヲ自然ノ成行ニ
放任シ置クトキハ彼等モ亦当国ノ余リニ自由ナルニ狃レテ
遂ニ矯正ノ途ナキニ至ルヘクト存セラレ候尚又在留国ニ於
ケル児童ノ教育問題ニ至リテハ所謂有識階級者ノ間ニ於テ
モ異説百出シ往々徒ニ国家主義ヲ云々シテ内外国ノ区別ヲ
サヘ辨ヘサル者モ有之候ニ付在留邦人指導ヲ以テ任スヘキ
当館ニ於テハ予メ各項目ニ亘リテ一定ノ指導方針ヲ立テ置
キ隨時之ニ基キテ訓示若ハ諭告ヲ与フルコトト致シ度若之
ニ反シ館長更迭スル毎ニ其ノ方針ヲ二三ニシ若ハ館員各自
ノ意見ニヨリ其ノ都度彼是矛盾セル訓諭ヲ与フル様ニテハ
在留民モ其ノ依ルヘキ所ヲ失ヒ益々五里霧中ニ彷徨スルコ
トト相成リ申スヘシト存シ候

尚別紙諭告書ニ掲記セル所ハ当館管内在留民ニ対シテ日常
訓示スヘキ幾多ノ事項中纔ニ二三ヲ今回其ノ必要ニ逼ラレ

テ摘記シタルモノニ候ヘハ他ノ諸点ニハ言及致サス候ヘ共
右諭告ノ趣旨ニシテ幸ニ適当ト御認メ相成リ候ハハ当該事
項ニ関シテハ之ヲ今後ニ襲踏致シ度ク若又幾分ニテモ不隠
当ト認メラルル点有之候ハハ早速改訂致シ度ク候間後者ノ
場合ニハ何分ノ義御回示ヲ仰キ度別紙相添右申進候 敬具
本信写送付先 在「リベイロン、プレト」多羅間分館主任
在伯堀口公使

(別紙)

諭告

一、日本帝国臣民ハ我国法ヲ遵奉シ之ニ服従スルノ義務アルハ今更事新シク言フマデモナイガ一旦「ブラジル」ニ渡航シタナラバ此ノ国ニ在留スル間「ブラジル」ノ国法ノ保護ヲモ受ケ之ト同時ニ「ブラジル」ノ法律規則ヲ遵奉シ之ニ服従スベキ義務ガアルトイフコトヲ忘レテハナラス

二、從テ出生死亡等戸籍ニ關スル届出ハ日本帝国ノ法律規則ニ基キ之ヲ当総領事館ニ届出ヅルト共ニ「ブラジル」国ノ法令ニ從ヒ成規ノ期限内ニ其ノ在留地ノ役場ニモ亦之ヲ届出デネバナラヌノデアル違反者ニ對シテハ夫々罰

ジ「ブラジル」ノ国語^{ポルトガル語}デ確リ教育ヲ施スコトガ一番得策デアラウト思ハレル若シ相当ノ児童數アルニ拘ラズ近所ニ小学校ガ無イ場合ニハ近來熱心ニ教育ノ普及ヲ図ツテ居ル「サンパウロ」州政府ニ願出テ之ヲ設置シテ賞フコトモ出来ルデアラウシ兎ニ角「ブラジル」ノ国語デ十分ニ教育ヲ施スコトハ將來当国ニ於テ大ニ活動雄飛セントスル子供自身ノ利益バカリデナク現ニ当国語ヲ自由ニ話スコトガ出来ナイ為ニ多クノ不便ト尠カラザル不利益ヲ蒙リツツアル親達ニ取ツテモ大ニ都合タルベキハ疑ナキ所デアアル

四、「ブラジル」ニ移住シタ以上ハ各自当国ノ風俗習慣ヲ尊重シ一番人目ニ着キ易イ服装ハ素ヨリ食住其ノ他日常ノ起居動作ニ至ルマデ勉メテ当国人ト同化スル様ニ心懸ケ且之ヲ躬行実践セネバナラヌ縦令一人二人ノ少數ニモセヨ在留日本人間ニ心得違ヒノ者ガアレバ是レ聽テ帝国臣民全体ガ当国人カラ指彈排斥セラルル原因トナルノデアアルカラ深ク此ノ点ニ注意シ且出来得ル限り「ブラジル」人及其ノ他ノ外国人ト親密ニ交際スル様心懸ケ日本人バカリ一隅ニ割拠シテ自ラ他国人ヲ除外若ハ排斥スルガ如

則ガ規定シテアルバカリデナク若シ出生届ヲ為サズ其ノママニ打捨テテ置クトキハ他日其ノ生レタ子供ガ或ハ当国ノ官公立諸学校ニ入ラントスル時或ハ当国ニ在ル父母ノ財産ヲ相続セントスル時或ハ「ブラジル」デ生レタ者デナケレバ就クコトノ出来ナイ官職公務其ノ他ノ職業ニ就カントス場合ナドニ種々ノ支障ガ生ジテ思ヒ掛ケナイ不利益ヲ蒙ラネバナラヌ聞ク所ニ拠レバ在留臣民中ニハ若当国ノ戸籍役場ニ出生届ヲスレバ他日本国ニ帰ル場合ニ何等カノ差支ヲ生ジハシナイカト心配シテ居ル人々モ在ルラシイガ之ハ全く無用ノ取越苦勞デアツテ縦令「ブラジル」ノ役場ニ出生ノ届出ヲシタカラテ之ガ為ニ帝国臣民タルノ分限ヲ失フコトモナク又少シモ帝国ノ法律若ハ帝国臣民タルノ義務ニ背クコトニハナラヌノデアアル要スルニ各当人ノ利益ノ為且又日本臣民ハ其ノ在留国ノ法律規則ヲ能ク尊重スル所ノ文明国民デアルトイフコトヲ示ス為ニ此等ノ届出ハ必ず實行スベキモノデアアル

三、次ニ児童ノ教育ハ其ノ父兄タルモノガ当然尽スベキ一大義務デアツテ此ノ義務ヲ完ウスル為ニハ子供ガ學齡ニ達シタナラバ之ヲ近所ノ「ブラジル」小学校ニ入レテ先

キ弊ニ陥ツテハナラス

五、在留帝国臣民中土地ヲ購入シ又ハ確實ナル借地契約ニ依リ獨立シテ農業ヲ営ンデ居ル人ニ對シ出来得ル限り諸般ノ保護並便宜ヲ与ヘテ其ノ事業ヲ奨励助長スル為當総領事館ニ於テハ誰タガ土地所有者又ハ借地経営者デアアルカ又其ノ事業ハ如何ナル規模デアアルカ等ノ事項ヲ予メ知ツテ置ク必要ガアル仍テ從來屢々邦字新聞ニ公告スルナド種々ノ方法ヲ以テ其ノ届出ヲ促シテ居ルニ拘ラズ未ダ其ノ届出ヲ實行シテ居ラヌ人々ノ多イノハ甚ダ遺憾トスル所デアアル斯クテハ万一其ノ土地ニ關シテ紛糾ガ起ツテ當館ノ保護ヲ要スル場合又ハ事業擴張等ノ目的ヲ以テ親戚若ハ同志ノ呼寄証明ヲ當館ニ出願セラルル場合ナドニ忽チ支障ヲ生ジ独リ當館々務ノ進捗ヲ妨グルバカリデナク延イテ各本人ノ不利益ヲ招ク虞モアルカラ所有地届並借地届ハ勿論ノコト移転ノ場合ニハ其ノ都度転居届ヲモ遲滞ナク差出サルルコトガ肝要デアアル

三九〇 三月十五日

在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

無補助移民ノ渡航許可ハ海興会社配置表ノ耕

地ニ労働スルヲ条件トセラレ度旨並旅券面記

載ヲ改メラレ度旨稟申及請訓ノ件

第八号

(三月十八日接受)

三月九日入港巴奈馬丸無補助移民十六家族ハ農業ニ経験ナキモノ多キヲ占メ只三家族ノミ耕地ニ赴キタル外他ノ十三家族ハ自由移民ナリトテ各々自由行動ヲトリ内ニ家族ハ当市ニ留マリ居レリ汽船ハ貴電第一号御發送以前ニ出帆セルモノナレドモ斯ノ如ク到着後自由行動ヲトリ不確実ナル邦人ヲ頼リ無資力無経験ノ身ヲ以テ直チニ独立農業ヲ希望シ若ハ都会ニ於ケル他ノ就職口ヲ求ムルモノ多キハ一面ニ於テ普通渡航者ノ渡航ヲ嚴ニシ居ル趣旨ニ反スルノミナラズ一般補助移民ニ悪影響ヲ及ボシ結局我移民全体ノ名声ヲ損ズルニ至ルベキコト明カナリ若シ将来此等無補助移民ハ到着後当館ノ認可セル海興会社ノ配置表ニ從ヒ耕地ニ労働スルヲ必須条件トシテ御許可相成様致度シ又自由移民ハ語弊(不明)無補助移民ト称シ且ツ旅券面「自由移民トシテ伯国」トアルヲ「移民トシテ耕地労働ノ目的ヲ以テ伯国」ト改メラレタシ若シ右条件ヲ定メ難ケレバ目下補助移民大歡迎ノ際ナルニ付無補助移民ハ当分見合ハセラレタシ御詮議

同様ナリ故ニ拙電第八号ノ通り御取計ヒヲ切望ス

三九三 三月二十九日

内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛(電報)

無補助移民渡航許可条件ニ関シ再回示ノ件

附記

大正九年五月二十八日在サンパウロ野田総領事

代理発内田外務大臣宛電報第二一号

第七号

貴電第九号ニ関シ無補助移民ヲ許可シタルハ客年五月二十八日野田総領事代理ノ電報ニ基ケルモノニテ海外興業会社ノ配置表ニ依ル移民ノミヲ送ル精神ニアラズ農業労働者ニテ自由ニ他ノ耕地ヲ選択シテ就労スルハ如何ナル害アリヤ尚一応研究セラレタシ

(附記)

大正九年五月二十八日在サンパウロ野田総領事代理発内田外務大臣宛電報第二一号

自費渡航日本移民誘入方ニ関シ稟請ノ件

第二一号

(大正九年六月二日接受)

伯国ニ於ケル本邦移植民事業ノ将来ヲ慮リ夫婦限り若クハ十二歳以下ノ子女ヲ有スル夫婦者ヲ何等ノ補助ヲ受ケズ全

一一「ブラジル」移民関係雑纂 三九三 三九四

ノ上至急何分ノ御電訓ヲ請フ

三九一 三月二十二日

内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛(電報)

無補助移民ノ渡航許可条件ニ付回訓ノ件

第六号

貴電第八号ニ関シ無補助移民ニ対シ海外興業会社ノ配置表ニ從ヒ耕地ニ労働スルヲ必須条件トスルコトハ自由移民ノ性質上出来難キモ右配置表ニ從フノ意思アリト認メラル者ノミヲ許可スルコトスヘシ又旅券面記載方ヲ改ムルコトハ貴見ノ通り処理スベシ

三九二 三月二十三日

在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

無補助移民ノ渡航許可条件ニ関シ再請訓ノ件

第九号

(三月二十七日接受)

貴電第六号ニ関シ配置表ニ從フ意思ヲ認ムルコトハ「パナマ」丸ノ例ニ依ルニ十五家族中十二家族モ途中変更セシ実例アリ認定ハ到底実行シ難シト思考セラル元来無補助移民ハ補助金ナキト家族構成変則ナル差アルノミ他ハ總テ補助移民ト異ナルナク自由移民(脱)農務省收容所長ノ意見モ

然自費渡航移民トシテ誘入スルノ途ヲ今ヨリ開始スルヲ得策ナリト思考シ本官ハ当州労働局長ト懇談的ニ意見ヲ交換シタル結果同局長ハ之等自費渡航者ニ対シテハ補助移民及欧州移民ト同様ニ無料ニテ上陸、宿泊、労働口紹介並ニ耕地迄輸送ノ恩恵ヲ附与スベシ又之等自費渡航者ハ農業労働者ナル限りハ労働局ノ仲介ニ依リ容易ニ雇口ニ付カシメ得ベキニ付先ツ試験的ニ一百家族内外ヲ誘入シ然ル可シト返答セリ就テハ移民組合ヲシテ渡航費自弁ノ夫婦移民ヲ百家族以内ニ於テ成ル可ク多数募集シ次回移民船ニテ渡航セシムル様致シ度シ

三九四 三月三十一日

在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

無補助移民ト雖ドモ其渡航許可ハ海興会社ノ

配置表ニ從ヒ就労スベキヲ条件トスル必要性

ニ付具申ノ件

第一〇号

(四月五日接受)

貴電第七号ニ関シ

無補助移民ハ私費ニテ渡航スルモノナレバ当地ニ来リ自由ニ耕地ヲ選択シ就職シ得ルハ当然ナリトノ説ハ理論トシテ

四五九

ハ然ル可キモ實際のナラズ当地ニ到着スル移民ガ直ニ耕主ノ信用程度条件ノ利不利モ判ラズシテ耕地ヲ選択スルノ不可能ナルハ云フヲ俟タズ時トシテハ不良漢ノ食物トナル虞アリ其ノ辺ヲ究メズシテ就職スルハ危険ナリ又借金ニ苦メラレツツアル薄弱ナル植民地ニ入り日傭稼ギヲ為スハ本人ノ不幸ナルノミナラズ保護取締上困難ナリ依テ最初募集ヲ為シタル海興会社ヲシテ予メ選択シ当館ノ認可シタル耕地ニ配布セシムルヲ以テ最モ安全ナリトスル所以ナリ海興会社ハ配布ニ依リ更ニ手数料ヲ得ルニモアラズ且面倒ヲ避クル為メ移民ノ自由行動ヲ寧ろ喜ブモ当館トシテハ保護上会社ニ対シ義務トシテ配布セシムルコトヲ望ムモノナリ但相當資本ヲ携ヘ土地ヲ購入耕作スルモノハ大ニ歓迎スル所ニシテ此輩ハ所謂移民ノ範圍外ナリトシ又確實ナル独立農業主ト予メ本邦ニ於テ打合せ来ルモノハ海興ノ手ヲ煩ハスニ及バザルハ勿論ナリ

三九五 四月十三日 田中通商局長ヨリ
兵庫県知事宛

伯国サンパウロ州行無補助移民ノ旅券面記入
方ニ関シ依頼ノ件

三九六 四月二十七日 内田外務大臣ヨリ
在サンパウロ藤田総領事宛

伯国サンパウロ州行無補助夫婦移民渡航問題

ニ関シ指示ノ件

通三普通第二一号

伯国サンパウロ州行無補助夫婦移民ノ渡航ヲ開始シタルハ客年五月二十八日第二一号前任野田総領事代理ノ電請ニ基キ尚現在本邦ニ於ケル移民募集ノ情況不振ヲ極ムルモ之畢竟補助家族移民トシテ三人ノ可適労働者ヲ以テ家族ヲ構成スルヲ要スルコトガ募集困難ノ一因ヲ為スモノナルコトヲ認メタルニ因ルモノナル処本件ニ関スル貴官発三回ノ電報殊ニ本年三月三十一日第一〇号貴電ニ依レバ無補助夫婦移民ガ「サンパウロ」州著ノ上自由ニ耕地ヲ選択シ就職スルコトハ到底結果不良ナリト云フニアレバ遺憾ナガラ今後該移民ノ渡航許可ハ中止可致候尤モ已ニ同会社ニ於テ取扱ヲ了シ本人ニ於テモ会社ノ選定ニ係ル耕地ニ赴クコトヲ承諾セル約十五家族ニ対シテハ自由移民ノ名称ヲ附セズ無補助夫婦移民ノ名ニ於テ渡航ヲ許可シタルニヨリ本月二十八日神戸出帆ノ予定ナル河内丸ニ便乗スル筈ニ有之候ニ付右ニ

一一「ブラジル」移民関係雑纂 三九六 三九七

通三送第一八三二号

伯国サンパウロ州行無補助移民ノ旅券面

記入方ニ関スル件

長野県小県郡依田村大字御嶽堂一四三五番地

大井 浩 明治三十六年二月九日生

妻まさよ 明治三十四年九月二十九日生

右ノ者ニ対スル渡航許可ノ可否長野県知事ヨリ協議ニ接シ許可差支ナキ旨回答致置候ニ付同県ヨリ貴庁へ渡航許可証ヲ送付セル際ハ自由移民ノ名称ヲ附セズ其旅券表面氏名ノ上ニ「移民」ト記シ日本帝国外務大臣ハノ下ニ「耕地労働ノ目的ヲ以テ伯刺西爾国」ト書シ旅券裏面欧文ハ単ニ「Emigrant」ト記入セラレ度尚今後本件無補助夫婦移民ニ付テハ其氏名ヲ一々御通知可致ニ付其ノ旅券面記載方ハ前頭ノ通り御取計ヒ相成度將又已ニ下付ヲ受ケ渡航セザル無補助夫婦移民ノ旅券ハ其記載方右ト相違セルモノハ無手数料ニテ書替交付セラルル様御処理相成度此段申進候也

註 右ノ者即チ大井夫妻ハ海外興業株式会社取扱伯国サンパウロ州へノ渡航ヲ長野県庁へ出願セル移民ナリ

御了知相成度將又今後会社ノ募集スル移民中家族構成条件ニ適合セザル為メ無補助夫婦移民トナリテ渡伯ヲ希望スル場合ニハ或ル数ヲ限り契約移民ノ取扱ニ依リ渡航許可致スベク之ニ使用スベキ労働契約書ハ目下同会社ニ於テ案文作成中ニ付追テ該案文ヲ当方ニテ承認シタル上ハ御送付可致候条此段申進候也

三九七 五月二十五日 在リベロン、プレト早尾分館
主任ヨリ

内田外務大臣宛

大正八及九年伯国在留日本人ノ人口動態調査

報告書送付ノ件

通三公第三五号 (七月二十五日接受)

大正十年五月二十五日

在サンパウロ帝国総領事館

リベロン、プレト分館主任

外務書記生 早尾 季鷹(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

大正八及九年伯国在留人口動態報告ノ件

本件ニ関シ別紙之通り及報告候間御査閲相成候様致度此段

申進候 敬具

(別紙)

大正八及九年伯国在留民人口動態調査

大正八年六月末現在調査ニ依レバ伯国在留本邦人総數ハ三万三千四百九十九人ナルガ之ニ同年七月以後十二月迄ノ新渡航者(一、一七〇名)並同期間ニ於ケル伯国出生數(六六一名)及死亡數(二七六名)ヲ夫々加除シ而シテ一方婦国又ハ亜爾然丁国等ニ無届転住スル者ト他方同国又ハ秘露「ボリヴィア」等ヨリ同ジク無届入国スル者トヲ彼此相殺スル時ハ同年末ニ於ケル伯国在留民ハ約三万二千九百人トナルベク之ヲ大正七年末ノ總數二万六千人ニ比スレバ実ニ六千九百人ノ増加ナリ

又同様ノ算法ニ從ヘバ昨大正九年末現在在留民ハ三万五千二百二十九人ニ達シ一昨年ニ比シ更ニ二千三百二十余人ノ増加ヲ示セリ

而シテ右在留民ノ激增ハ大部分戰時中及戰後本邦移殖民ノ続々渡來セルニ基クコト勿論ナリト雖モ亦一部分ハ出生ノ増加ニ因ルモノナルコト明ナリ

出生 今在「サンパウロ」帝國總領事館及当分館届出ニ

係ル一昨及昨年中ノ出生ヲ檢スルニ大正八年ニ於ケル出生數千三百九十九名同年千六百一十一名ニシテ後者ニ於テ二百十二名ノ増加ヲ來シタルガ此ノ中更ニ兩年ノ死亡數五百三十三名及四百二名(第二表参照)ヲ夫々控除スル時ハ大正八年ニ於テハ結局八百八十六名(即全日本人ニ對シ二分七厘強)ヲ同九年ニ於テハ千二百九名(同上三分四厘強)ヲ増加セルコトヲ知ルベシ

即チ昨年ノ増加率ハ大正八年ニ比シ僅ニ過ギザリシナリ次ニ右兩年ニ於ケル出生數ヲ其ノ順次ニ從ヒ主要県別ニヨリ表示スレバ左ノ如シ

大正八及九年府県別及男女別出生表

府県別	大正八年		大正九年		増減
	男	女	男	女	
福 岡	三一	一六一	三一〇	一六四	(-)
沖 繩	三〇	一四五	二九三	一五二	(-)
熊 本	二一	一四五	二二六	一〇六	(+)
廣 島	一一	一〇〇	一三八	五九	(+)
福 島	八六	四三三	八四	四八	(-)

在留民ノ増加セルニ拘ハラズ死亡數ハ却テ減少シ大正七年ノ同數四百三十八名ヲ下ルコト尚三十六名即チ四百二名ニ低減セリ

由テ右兩年ノ死亡數ヲ前掲出生表ト對比セン為之ヲ県別男女別ニ分チ左ニ表示スベシ

大正八及九年府県別及男女別死亡表

府県別	大正八年		大正九年		増減
	男	女	男	女	
沖 繩	八四	三三一	六三	二八五	(-)
熊 本	八四	三六八	五八	二九九	(-)
福 岡	八〇	四一九	五六	三一五	(-)
廣 島	四五	二六	四三	一五八	(-)
鹿 兒 島	四四	二六八	二三	一九四	(-)
福 島	三三	一三〇	三三	一四九	〇
長 野	一九	九〇	一二	六六	(-)
愛 知	一八	一一七	三	二一	(-)
山 口	一五	九六	一三	六七	(-)

死因 大正九年「リオデジャネイロ」市人口衛生統計ニ依レバ同市ニ於ケル死亡者に關シ死因ノ最モ多数ナルハ消化器病ニシテ呼吸器病（肺結核ヲ含ム）循環器病及神經系統病等之ニ次グリ而シテ右ハ都会生活者ヲ基トシタルモノナレドモ轉ジテ大多数ハ田園生活ヲ當ミツツアル我在留民ノ死亡者ニ付之ヲ檢スルニ亦死因ノ第一位ヲ占ムルモノハ依然消化器病ナリトス之ニ次グモノハ呼吸器病流行性感冒「マラリア」熱ナルが大正八年ニ於テ特ニ肺炎及感冒等ノ増加セルハ同七及八年ニ亘リ猖獗ヲ極メタル所謂西班牙風

ノ結果ト見ルベク一時性ノモノナルヲ以テ甚ダ異ト為スニ足ラザレドモ各種ノ消化器病又ハ風土病タル「マラリア」熱等ノ如ク尚齡カラザル死亡者ヲ出シツツアルニ對シテハ伯國移住者ニ於テ予メ注意ヲ為スコト肝要ナリ是レ畢竟スルニ本邦移殖民等ノ一朝生活ヲ異ニセル圜境ニ投ジ未ダ當國ノ風土ニ慣レザル上ニ其衛生常ニ宜シキヲ得ザルニ基因スルコト勿論ナルベシト雖モ亦他面左表ニ見ルガ如ク死亡者中死因ノ不明ナルモノ極メテ多大ナルハ看過スベカラザルナリ惟フニ交通ノ便至惡ナル内地ニ深ク入り病臥スルモ求ムルニ医師ナク又之有ルモ言語不通ノ為診療其度ヲ得ズ終ニ死ヲ招クニ至ルモノ啻ニ數指ニ止マラザルベシ別表ニ於ケル所謂死因不明中自然死ト云ヒ医師ノ無診療ト云ヒ凡ソ此ノ類ニシテ若シ是等ノ者ニシテ良医ノ投藥ニ加フルニ適當ナル治療ヲ以テセンカ空シク生命ヲ異境ニ棄ツルノ悲ヲ免レシナラン是レ切ニ當方面ニ於テ差當リ對移民農業指導者ノ必要ヲ感ズルト共ニ熟練ナル日本医ノ渡來ヲ希望スル所以ナリ

今試ニ大正八年及九年ノ死亡者ニ付最モ普通ナル死因ヲ表記スレバ左ノ如シ

病名

病名		大正八年	大正九年	計
胃腸加答兒		四六	二六	七二
腸炎及結腸炎		一〇	一五	二五
其他ノ腸疾		一六	一四	三〇
消化不良		五	八	一三
氣管支炎		一一	七	一八
肺炎		四五	一六	六一
肺結核		三一	一五	四六
流行性感冒及熱病		五九	一三	七二
マラリア		一一	四七	五八
蜜扶斯及腸蜜扶斯		一一	六	二七
腎臟炎		一六	八	二四
榮養不良		四	九	一三
發育不全		一	九	一〇
腦膜炎		四	七	一一
赤痢		六	五	一一
実布の里亜		五	五	一〇
麻疹		七	一	八
産褥熱		四	五	九
心臟病		四	二	六
敗血病		三	三	六
腹膜炎		三	二	五

流	急	變	溺	室	自	其他ノ諸病	死因不明ノモノ	醫師ノ診療ヲ受ケザリシモノ	自然死	其他(病名ノ記載ナキモノ全然不明ナルモノ等)	總計
三	二	九	五	四	二	腦溢血、癰瘍、脚氣、破傷風、輕症コレラ、老衰等四十八病	三一	六五	二五	七五	五三三人
一	二	五	二	二	一		四二	二四	一九	八一	四〇二人
四	四	一四	七	六	三		七三	八九	四四	一五六	九三五人

婚姻離婚離縁 先年移民ノ渡航頻繁ナリシ頃ハ其ノ家族構成条件ヲ満足セシムル為往々間ニ合セノ虚構家族ヲ形成シ渡伯後離婚若クハ離縁スル者続発シタルガ右ハ最近移民ノ選択ニ留意セル結果漸次減少シツツアリサレド實際ニ徴スルニ尚沖繩県ノミハ其ノ件数比較的他県ヨリ多キガ如シ大正八及九年ニ於ケル県別婚姻離婚離縁件数表左ノ如シ

大正八年県別婚姻離婚離縁件数表

県別	婚姻	離婚	婚姻	離婚
福岡	三五	三	三	九
熊本	一九	二	二	四
広島	一一	二	二	六
沖繩	八	四	四	〇
福岡	八	二	二	一
高知	二	一	一	一
長崎	二	一	一	一
其他十県	一〇	三	一	四
合計	九五	一八	二六	四

県別	婚姻	離婚	婚姻	離婚
福岡	四三	三	三	一
熊本	三三	三	三	〇
広島	一八	三	三	六
沖繩	七	二	二	〇
福岡	五	一	一	六
高知	四	一	一	〇
長崎	四	〇	〇	一
其他二十一府県道	三〇	四	一	二
合計	一四四	一七	四七	一

三九八 五月三十日 在伯国堀口公使ヨリ

内田外務大臣宛

外国人漁業禁止法施行下ニ於ケル日本人漁業

者ノ情態ニ関シ報告ノ件

通機密第三号

(七月二十三日接受)

大正十年五月三十日

在伯

特命全權公使 堀口 九萬一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

外国人漁業禁止法施行ノ下ニ於ケル

本邦人漁業者ノ情態ニ関シ報告ノ件

摘要

(一)伯国ハ沿岸防備ノ必要ヲ名目トシ外国人ニ対シ漁業禁止ヲ励行ス

(二)コレガタメ葡人漁夫等ノ伯国ヲ追放セラレタル者既ニ八百人以上ニ達セリ

(三)伯国ニ於ケル本邦人漁業者ノ情態

(四)伯国漁業局長ノ好意的諒解

(五)本邦人漁夫ノ安堵従業

伯国ニ於テ漁業ニ従事スルモノ即チ漁夫ハ「必ズ内国人タルヲ要スルコト」ハ今ヲ距ルコト二十三年前即チ一千八百九十七年十二月九日附海軍補充兵法ヲ規定セル法律第四七八号第三条補款ニ明記スル所ナルモ其後外国人ニシテ漁業ニ従事スルモノアリシモ当局ハ右法律ヲ嚴格ニ施行セズ稍々黙認ノ姿ナリキ茲ニ於テ葡国人漁業者ハ年々其数ヲ増加シ特ニ近年ニ到リテハ葡国人漁業組合ヲ伯国ノ到ル処ニ組織シ同時ニ葡国人魚類商人ト協同シテ魚類ノ捕獲並ニ其ノ販賣ヲ葡国人ノ手ニ壟斷スルニ至レリ而シテ彼等ハ其ノ一手販賣ノ勢ヲ濫用シテ魚類ノ市価ヲ漸次高騰セシメタルノミナラズ右葡国人ノ魚店ニ於テハ伯人漁夫等ノ捕獲シタル魚類ハ葡人漁夫ノ夫レニ比シテ多額ノ割引ヲ為スニアラザレバ買上ゲザルコトトシタリ茲ニ於テ伯国人漁夫等ハ其ノ苦情ヲ当局ニ申出デ次ニ伯国人一般ニ魚価ノ高キニ不平ヲ鳴ラシ同時ニ諸新聞紙モ亦盛ニ葡国人等ノ漁業專斷ノ弊ヲ攻撃シテ当局ノ注意ヲ促セリコレ昨年七八月頃ノ出来事ナリ依而伯国当局ハ前現千八百九十七年ノ法律ヲ喚起シテ之ヲ励行スルコトトシ特ニ国防上ノ必要ヲ名トシ爾後外国人ニハ一切沿岸漁業ヲ禁止スルコトトシコレニ違犯セル葡国

人等ニ対シテハ容赦ナク之ガ漁舟漁網ヲ没収シ且ツ葡人漁夫等ヲ国外ニ追放セルモノ既ニ八百人以上ニ達セリ當時葡国人ハ之ガ反对運動ヲ起シ一方ニハ伯国当局ヲ相手取り訴訟ヲ提出シ同時ニ葡国大使ハ伯国外務大臣ニ二回ノ抗議ヲナシタルモ遂ニ何等ノ効果ヲ生ゼズ今ヤ外国人漁業禁止法ハ嚴格ニ励行セラレツツアル所ナリ

然ル処「サンパウロ」州「サントス」港ニ於テハ本邦移民中ノ三十余名ハ一兩年前ヨリ既ニ同港附近ニ於テ漁業ニ従事セルノミナラズ昨年二月山県勇三郎ハ新タニ本邦漁夫二十八名ヲ引率シテ渡伯シ「リオ、デ、ジャネイロ」州「カボ、フリヲ」ニ於テコレ亦漁業ニ従事シ居レルヲ以テ右法律ノ我漁夫等ニ対シ励行セラルルニ於テハ一時ニ六十名内外ノ失業者ヲ出スヲ免カレザルノ恐アリ

依而本使ハ兼テ旧知ノ間柄ナルヲ幸トシ漁業局長「フレデリコ、ヴィラール」氏ヲ訪ネ本邦人漁夫ニ関スル事情ヲ打明ケ且ツ右法律励行ニ対スル緩和的救済法ヲ交渉シ就テハ此際可成速カニ本邦漁業者ヲシテ伯国ニ帰化セシム可キニ就キ其ノ間ハ黙許アリ度キ旨懇談シタル処同局長ノ諒解ヲ得タルヲ以テ昨年七月二十八日附拙信ヲ以テ右ノ趣ヲ在

「サンパウロ」野田総領事代理ニ通告シテ速カニ在「サントス」港本邦人漁夫等ノ帰化申請ノ手續ニ着手セシメタリ同時ニ他ノ一方「リオ、デ、ジャネイロ」州ニ於ケル山県勇三郎ニモ亦帰化願書ヲ伯国内務省ニ提出セシメタリ然ル処山県引率ノ漁夫等ハ来伯後五六ヶ月ニ過ギザルコトトテ帰化ニ必要ナル滞伯二ケ年ノ条件ヲ充タス能ハザルヲ以テコレハ暫ノ間山県ノ使用人トシテ漁業ニ従事セシメント計リシモ海軍省内ニ於テ仮令使用人ノ名義ニ於テモ外国人ハ漁業ニ従事スルコトヲ得ズトノ異論ヲ生ゼリ茲ニ於テ本使ハ重ネテ漁業局長ノ好意の諒解ヲ求メ同時ニ漁業局長ノ長官タル沿岸及諸港湾監督長官海軍中將 Rasia Gadaglia 氏ノ内諾ヲ得タル後山県漁場ノ建物ヲ改名シテ伯国水産講習学校トシ世間ニ対シテハ伯国人ニ漁業術・伝習ヲ為スヲ目的トスト標榜シ且ツ右漁業局長ヲ名譽校長ニ推戴シ校名ヲ「ヴィラール」水産学校ト号シ表面上全クコレヲ伯国化スルコトトセリ茲ニ於テ山県ノ使用人タル本邦人漁夫等ハ漁獲方法実地教授ノタメ右学校雇教師ノ名義ヲ以テ實際ノ漁業ニ従事スルヲ得ルコトトハナレリ且ツ其後山県ハ伯国帰化証書ノ下附ヲ得タルヲ以テ全ク何等掛念ヲ要スルモノ

ノ所有ニ係ル漁船漁具網具等ハ没収ノ厄ニ係ルヲ免カラルヲ得ズ

然ルニ何等無警告ニ日本漁夫ヲ検査スルガ如キハ同局長ト本使トノ間ニ存スル平素ノ交誼ニ鑑ミ忍ビザルモノアルニ付右極秘トシテ内報ス云々

ト申越セリ

依テ早速去五月十六日附私信トシテ在「サンパウロ」藤田総領事ニ宛テ右ノ趣ヲ通知シ且ツ附記シテ『就テハ至急在「サントス」日本漁夫中ノ重立チタル者ヲ貴館ヘ呼出シ相成リ右ノ趣御警告相成度且ツ成ル可ク速ニ帰化ノ手續ヲ了セシムルカ又ハ其レ迄ニ間ニ合ハザルニ於テハ本月三十日前後同局長「サントス」港臨検ノ際ニハ可成其ノ目ニ触レザル様ニ用意シ其ノ臨検間ハ本邦人漁夫等ヲシテ暫時休業セシメ候事或ハ然ル可キカト被存候尚同局長ハ右内告ノ他ニ漏ルルヲ深く掛念致シ居リ候ニ付漁夫等ニ御警告ノ際モ右御注意相成度旨』通知シ置キタル処総領事代理春日副領事（目下藤田総領事ハ伯国内地視察旅行中）ハ其後「サントス」港ニ出張シ本邦漁夫帰化申請方ニ関シ兼テヨリ依頼シアル「サントス」港弁護士ヲ訪ヒ帰化ニ関スル其後ノ成

ナキニ到レリ
其後「サントス」方面ニ於ケル漁業者ハ続々帰化願書ヲ提出シ今ヤ三十二名ニ達セルガ右願書中旅券訳文ノ点ニ多少ノ欠点アリトノ理由ニテ一時申請書ノ返戻ヲ受ケ其ノ後又種々ノ理由ニテ意外ニ手間取りタメニ未ダ帰化証ノ下附ヲ見ルノ運ビニ至ラズ

然ルニ伯国当局ハ目下頻リニ右外国人漁業禁止法ヲ勵行シ既ニ伯国北部諸港湾ノ臨検ヲ終リ不日「リオ」以南諸港ヲ臨検スル手筈ト相成居候趣ニテ過般漁業局長ハ懇切ニモ態々本使ニ左ノ旨ヲ内密ニ通告シ呉レタリ

御承知ノ通り国防上ノ見地ヨリ伯国沿岸防備ノ必要上伯国ニ於テハ外国人ハ一切ニ漁業ニ従事スルコトヲ得ザルコトト成リ居レリ

然ル処「サントス」附近ニハ未ダ帰化セザル葡萄牙人並ニ其ノ他外国人ニシテ今尚漁業ニ従事スルモノアルヤノ趣ニ付右等実地検査ノタメ（同局長ハ）本月三十日以前ニ当地ヲ出発シ「サントス」港ニ向フ筈ナリ

其ノ際若シ日本人漁夫中未ダ帰化權ヲ得ザルニ不拘同港附近ニ於テ漁業スルモノアルニ於テハ右検査ノ際其ノ者

行ヲ尋ネタル処『右弁護士ノ談ニ依レバ港務部長ハ此際帰化ヲ肯ゼザル伊葡等ノ外国人漁夫ニ対シテハ断然禁止的態度ニ出ヅル意向ナルヤニ見受ケラルルモ本邦漁夫等ハ既ニ帰化申請中ノモノナルニ依リ中央政府ニ於テ帰化許否ニ関シ何分ノ決定アル迄三十日間有効ノ漁業仮鑑札ヲ下附シ三十日毎ニ其許可更新ヲナシ以テ従来通り継続ヲ認メ居リ此際何等問題ノ惹起スル虞ナキ趣』ヲ告ゲタリ春日副領事ハ尚念ノタメ「サントス」港務部長ヲ訪問シ本邦漁夫等ニ対スル同部長平素ノ好意ヲ謝スルト同時ニ本邦漁夫等ノ殆ンド凡テガ伯国帰化ヲ希望シ既ニ其ノ手續ヲ了シタル処今後モ尚引続キ漁業ニ従事シ得ルモノト思考セラルルガ其ノ辺ノ貴見承知致シ度シト尋ネタル処同部長ハ「曩ニ本邦漁夫等ガ他ノ外国人ニ先チ準而帰化ノ申請ヲナシタルハ当局ニ於テモ至極好感ヲ抱キ居ル所ニシテ既ニ彼等ニ対シテハ三十日毎ニ更新スル仮鑑札ヲ与ヘ従業継続ヲ許可シ居ル次第ニシテ何等懸念ノ要ナキコト」ヲ返答致候ニ付今後ノ好意の取扱ヲ依頼シ辞去致候云々ノ趣去五月二十四日附私信ヲ以テ委細報告有之コレニ依レバ「サントス」方面モ亦何等危懼スルニ足ルモノナキ情態ナリ

前陳ノ通りノ次第二ニテ伯國ニ於テハ今ヤ外國人漁業禁止法ノ施行セラルルニ不拘「リオ、デ、ジャネイロ」方面ニ於テモ亦「サントス」港附近ニ於テモ本邦人漁業者等ハ其ノ打撃ヲ受クルヲ免レ各々其ノ堵ニ安ンジテ漁業ニ従事シ得ルハ彼等ノタメ誠ニ仕合せト存候而シテコレ全ク漁業局長並ニ港灣監督長官ノ好意的諒解ニ出ヅルモノトシテ本使ノ私カニ徳トスル所ナリ

右及報告候 敬具

三九九 六月三日

田中通商局長ヨリ
北海道庁長官警視總監各府県知事
(東京府ヲ除ク)宛

伯國行無補助夫婦移民ノ渡航許可ハ今後契約
移民トシ海興会社ノ配置表ノ耕地ニ就働スル
ヲ必須条件トスル様通達ノ件

附記

大正九年六月五日附田中通商局長ヨリ各地方長官(東京府ヲ除ク)及警視總監宛通三合送第六

六九号

通三普通合第八九一号

客年六月五日附通三合送第六六九号ヲ以テ移民取扱人ノ取扱ニ依リ伯刺西爾國行トシテ從來募集セル家族契約移民ノ

除ク)警視總監宛通三合送第六六九号

サンパウロ州行夫婦自由移民取扱ニ関スル件

通三合送第六六九号

今般在サンパウロ野田總領事代理ニ於テ同州政府当局ト交渉ヲ遂ゲタル結果從來募集セル家族契約移民ノ外夫婦ノミノ家族自由移民並ニ十二歳以下ノ子女ヲ有スル夫婦者ノ誘入ニ関シ州当局ノ承認ヲ得先ヅ試験の二百家族ヲ限り伯刺西爾移民組合ニ於テ募集取扱ヲ為スコト可相成ニ付御承知ノ上右ニ該当スルモノヨリ出願有之候際ハ許可可然御取計相成度

尤モ(一)夫婦関係ノ確実ナルモノナルコト但シ新シキ結婚ニテモ事実夫婦協力目的ノ労働ニ従事セムトスルモノナラバ差支ナキニ付此辺御含置相成度(二)最モ御注意ヲ煩シ度ハ純農業者タルコトニ有之候

是等夫婦移民ノ渡航后ノ就職口其他ノ条件ニ付テハ州当局ニ於テ補助移民及歐洲移民ト全然同一ナル待遇ヲ与フベク委細ハ別紙野田總領事代理電報ノ通りニ有之候条右ニテ御承知相成度此段申進候也

註 在サンパウロ野田總領事代理來電ニ付テハ前掲三九三文

外夫婦ノミノ自由移民並ニ十二歳以下ノ子女ヲ有スル夫婦者百家族ヲ試験的ニ移民取扱人ヲシテ募集セシムル義ニ関シ及通牒置候処右ニ依リ渡伯シタル移民ノ大部分ハ自由移民タルヲ理由トシテ渡航後直ニ自由行動ヲ執リ其ノ成績甚ダ不良ナルニ因リ今後該移民ハ海外興業株式会社ノ在サンパウロ代理人ガ予テ選定セル珈琲耕地ニ就働スルヲ条件トスルニ非ザレバ之ガ渡航ヲ許可セザルコト致シ候ニ付從テ本件移民ハ契約移民トシテ取扱ヒ同会社ヨリ警視庁ニ提出シ貴庁ニ配布致スベキ書面契約ニ基キ尚左記事項ニ準拠シ渡航御許可相成度此段申進候也

記

一、新婚姻後時日ヲ經過セザル夫婦ニテモ協力労働ニ従事スルコト確実ナルニ於テハ許可シ差支ナキコト

二、純農業者ニ非ザレバ許可セザルコト

三、大正十年一月六日附通三合送第四号通商局長通牒ハ今後廢止スベキニヨリ本件移民ノ許可ニ對シ当省ヘ協議スルニ及ハザルコト

(附記)

大正九年六月五日附田中通商局長ヨリ各地方長官(東京府ヲ

書ノ附記參看

四〇〇 七月二十二日

在伯國堀口公使ヨリ
内田外務大臣宛

サンパウロ州選出下院議員ノ日本移民ノ農業

貢獻ニ對スル賞讃演說ニ関シ報告ノ件

通公第七一号

(九月十三日接受)

大正十年七月二十二日

在伯

特命全權公使 堀口 九萬一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

「サンパウロ」州選出下院議員ノ日本

移民賞讃ニ関スル件

「サンパウロ」州選出伯國下院代議士「シンシナト、ブラガ」氏ハ伯國政界ノ財政通トシテ声望アリ随テ其ノ言論ハ政界ニ重キヲナス所ナルガ過日下院財政委員會ニ於テ為セル同氏ノ演說ハ伯國ノ財政經濟等各方面ニ亘リ頗ル世上ノ注意ヲ喚起セリ

右演說中偶々在伯本邦移民ニモ論及スル所アリ一部伯國官民中本邦移民ニ對シ動モスレバ不利益ナル言辭ヲ弄スル者

アル折柄今有力ナル政治家ノ口ヨリシテ而モ公開ノ席上ニ於テ本邦移民ニ關スル賞讃ノ言辞ヲ耳ニセルハ頗ル意ヲ強クスルニ足ル

「シンシナト、ブラガ」氏ハ右演說中ノ一節ニ於テ伯国重要輸出品タル米玉蜀黍フアイジョン等ノ本年度ニ入リテ以来其ノ輸出減退ヲ誘致スルニ至レル理由ヲ説明シ伯国農業ノ今尚原始的幼稚ノ域ヲ脱セズシテ種子類ノ不精選收穫物ノ不消毒等要スルニ科学的智識ヲ欠クニ基因セルモノナルコトヲ詳述シ之ガ匡正策トシテ農業ノ普及ヲ計リ先ズ其ノ方法トシテ農業ニ關スル刊行物ノ増刊及農学校教員並ニ巡迴教師ノ注意ト指導トニヨリ一般農業者ガ種子ノ精選收穫方法ヲ改良スルノ必要ナルコトヲ述ベタル後右施設方法ノ効驗アル例証トシテ在「サンパウロ」州ニ於ケル本邦農民者ノ農業振リヲ引用セリ曰ク『前記施設方法ノ好結果ヲ齎シタルコトハ独リ「リオ、グランデ、ド、スール」州ニ於テノミナラズ「サンパウロ」州ニ於テモ同様之ガ実験ヲ遂ゲタリ即チ日本農業者ハ精選セル種子ヲ使用スルノ外肥料ヲモ施シ生産物ニ対シ細心ノ注意ヲ怠ラザリシ結果亞爾然丁国産ト同様ノ馬鈴薯ヲ收穫スルニ至レリコレ伯国農業史ニ於テ會

テ其ノ先例ヲ見ザル所ナリ右馬鈴薯ハ普通品ノ市価ノ一袋十七「ミルレイス」乃至十八「ミルレイス」ナルニ対シ二十四「ミルレイス」迄ノ好値段ヲ示セリ又「サンパウロ」州ニ於ケル玉蜀黍（カテテ種）ハ從來退化ノ域ニ達シ居リタルモ日本移民渡来以来未ダ曾テ産出シタルコトナキ良品ヲ收穫スルニ至リ且「サンパウロ」州内「ブラガンサ」及「アチバイア」郡ニ於ケル一地方ノ如キハ以前雜草繁茂セル荒蕪ノ土地ニ過ギザリシガ日本移民ノ入耕以来忽チ沃土ト化シ一等品ノ農産物ノ耕作ニ適スルニ至リタルハコレ日本人努力ノ賜物ナリ日本農業者ノ秘訣ハ農業ニ關スル固陋ナル旧慣ヲ打破スルニアリ」ト賞揚シ尚一挿話ヲ附シテ『茲ニ珍奇ナル一事実ハ嘗テ一日本人ガ伯国人卸売店ニ来リ馬鈴薯ノ種子ヲ求メタル際同店員ハ一袋十八「ミルレイス」ノ見本ヲ提示シタル処同日本人ハ其見本ヲ吟味シタル後二十四「ミルレイス」或ハ夫以上ノ代価ヲ支払フ可キニ付最良ノ種子ヲ示サレタシト申出デ見本中最モ高価ナル最良種ヲ持去レリトノ事実ヲ指摘シ若シ伯国農業者ニシテ如上日本人同様ノ方針ヲ採ラバ伯国農産物ノ価格ハ現価格ニ倍加シ世界ノ需要国ニ向テ盛ニ輸出スルコトヲ得タルナル

可シ』云々ト論述セリ由是觀之北米加州其ノ他ニ於ケル本邦農業者ガ同地方開發ノ先驅者タリシ事例ニ鑑ミ伯国ニ於テ本邦移民渡来以来僅ニ十二年ノ星霜ヲ閱スルニ過ギザル今日ニ於テ既ニ伯国官民間ニ其ノ嶄然タル頭角ヲ認識セシムルニ到リタルコトハ應テ本邦人ガ伯国ニ於テモ亦農業上ノ先驅者タルヲ得ル難キニ非ザルヲ思ハシム

右御參考迄及報告候 敬具

四〇一 八月四日 在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛

在サントス日本人漁夫ニ關スル重要問題解決
ニ付漁業局長ト協議セル件

通公第一〇四号 (九月二十六日接受)

大正十年八月四日

在サンパウロ

総領事 藤田 敏郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

在サントス本邦人漁業問題ニ關スル件

本件ニ関シ曩ニ小官漁業局長「ヴィラール」中佐ト会見ノ顚末ハ客月一日附通公第八六号拙信ヲ以テ及具報置候処同

月二十日堀口公使ヨリ電報ヲ以テ『在「サントス」漁業局長「ヴィラール」ヨリ重要問題解決ニ關シ会谈シ度キニ付同地ヘ貴館員一名派遣アリ度キ旨本使ヘ申来レリ可然御取計ヒアリタシ』ト申越有之當時小官ハ内地視察旅行ノ為不在春日副領事又公務ノ為兩三日後ナラデハ出張難致事情アリシタメ不取敢翌二十一日斎藤通訳生ヲシテ同地ヘ出張局長ヨリ要件ヲ聴取セシメ候処其用談ナルモノハ大略一、帰化申請中ナル日本漁夫ノ大多数ハ日用ノ葡語スラ通セス自他ノ為不便尠カラサル現状ニ付此際彼等ニ於テ葡語教師ヲ招聘シ同語ノ修得ニ努ムル様嚴達セラレ度キコト

二、「リオ、ブランコ」「イタニャエン」附近ニ居住スル日本人中国禁ヲ犯シ「ダイナマイト」漁業ヲ営ム者アリ右ニ対シ禁止方ヲ嚴達セラレ度キコト

三、「サントス」以南ニ住スル日本漁夫臨檢ニ際シ通訳其他ノ用務ノ為総領事館員一名ヲ軍艦ニ同乗セシメラレタキコト

四、帰化申請済ノ日本漁夫ニ対シ從來港務部ヨリ下附シ居タル漁業仮認可証ハ本月限り無効トナシ此際同局長ヨリ

新ニ認可証ヲ下附スヘク其他諮問及通告スヘキ事項アルニ依リ二十五日午前軍艦内ニ日本漁夫一同ヲ招集スル様總領事館ニ於テ取計相成度尙当日ハ在サントス日本漁夫問題ヲ全然解決スヘキ所存ニ付是非共副領事及館員一名臨席セララル様希望ス

等ノ数件ニ有之候依テ春日副領事ハ二十五日午前齋藤通訳生同伴下聖同局長ヲ訪問先ツ前記諸件中葡語修学及「ダイナマイト」漁業禁止ノ件ハ早速相当ノ処置ヲ執ルヘキコトヲ承諾シ又館員同乗ノ件ハ「サントス」漁夫代表者佐々木実次(後出)ヲ同乗セシムルコトニ決定致候是ヨリ同局長ハ同官等ノ仲介ニテ本邦漁夫七十余名ニ対シ一々其伯国到着年月漁業開始年月家族ノ有無等ヲ諮問シ人名表ヲ作製シタル後局長ハ一同ニ対シ大略下記ノ事項ヲ通告致候

一、此際帰化申請済ノ者ニ対シテハ漁業認可証ヲ下附シ又伯国到着後二ケ年未滿ノ者ニ対シテハ後日何分ノ決定アル迄仮認可証ヲ下附スヘキコト

又今日以後ハ帰化ノ許可ヲ得タル者ノ外一切漁業ニ従事スルコトヲ許ササル方針ナルコト

四〇二 八月十三日 在伯国堀口公使ヨリ
内田外務大臣宛

外国人漁業禁止法ニ拘ラズ本邦人漁夫等ノ漁業従事方認可取付済ノ件

通機密第七号 (九月二十九日接受)

大正十年八月十三日

在伯

特命全權公使 堀口 九萬一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

外国人漁業禁止法ノ施行セラルルニ拘ラズ本邦

人漁夫等ハ安ンジテ漁業ニ従事シ得ル様認可済

ノ件

本年五月三十日附通機密第三号ヲ以テ本件ニ関シ詳細御報告申進置候後先般漁業局長「フレデリコ、ヴィラール」

(Frederico Villar) 氏ハ愈々六月二日「リオ」港ヲ出發シ行ク行ク沿海ノ漁業ヲ臨檢シ南下「サントス」ニ赴ク予定ノ由聞キ及ビ候ニ付同局長ノ出發ニ前チ会見ノ上在「サントス」本邦漁夫等臨檢ノ際ハ万事好意ヲ以テ手柔カニ取扱方親シク依頼シ置カント存ジ会見方申込候処出發当日即

ムル結果漁夫及市民両者其不利ヲ被ムリツツアル有様ナル処此際此弊風ヲ一掃シ八月一日以後日本人其他一般漁夫ハ漁業組合 (Colonias Cooperativas da Pesca) ニノミ漁獲物ヲ売渡スコトナシ度ニ付日本漁夫モ右八月一日以後ハ組合ニ対シテノミ売渡ス様致サレ度シ

但シ組合ノ売買値段ハ日々之ヲ定メ公示スルコト及組合ノ収支計算ヲ發表スルコト

三、日本漁夫佐々木実次カ葡語ニ通シ才幹能力アル人物ナルコトヲ認め同人ヲ日本漁夫代表者ニ指定スルコト

尚局長ハ最後ニ今回日本漁夫問題解決方ニ関シ在「リオ」公使館並在「サンパウロ」日本總領事館ニ於テ執ラレタル幹旋ノ勞ニ対シ深謝スル意ヲ陳ヘ候春日副領事ハ右通訳ヲ兼ね其趣旨ヲ布衍スルト共ニ特ニ本邦漁夫ノ心得ヘキ箇条ヲ懇々論告シ更ニ葡語ヲ以テ同局長ノ好意アル処置ニ対シ感謝ノ意ヲ表シ候

今回諮問ヲ了シタル本邦漁夫數七十七名中帰化申請済ノ為本認可証ヲ下附セラレタル者五十余名ニシテ其他ノ約二十名ハ帰化ノ資格ナキ為仮ニ認可セララルコト相成候此段具報申進候 敬具

チ六月二日午後二時海軍省ニテトノ回答ニ接セリ依而当日定刻参省候処同局長ハ潮時ノ工合ニテ不得止正午既ニ出發致シタル趣同局長ノ長官タル沿岸及諸港總監「ロジア、ガバグリア」(Rozia Gabaglia) 海軍中將ヨリ話アリタリ依而本使ハ今日漁業局長來訪ノ目的ヲ告ゲ其ノ会見シ得ザリシ遺憾ヲ述べ偕「サントス」ニ於ケル本邦漁夫等ハ衷心帰化ノ意思ヲ有スルモノナルヲ以テ仮令目下帰化ノ手續ハ未済ナルニシテモ其ノ辺ハ寛大ニ考諒セラレ何等檢挙若クハ營業停止等ノ厄ニカカラシメザル様致度旨懇話シタル処同中將モ本使ノ意ヲ諒トスル旨申サレタルニ依リ然ラバ閣下ヨリ漁業局長宛ニテ可然御訓令相成候様願ハルレバ幸甚ナリトノ懇願候処同中將ハ之ヲ快諾シ即刻副官ニ命ジテ本使ノ面前ニテ電信案ヲ作成シ無線電報ニテ発信方取計ハレ呉レタリタリ依而厚ク其ノ好意ヲ謝シテ退出シ即時藤田總領事ニ宛テ大佐左ノ通り發電シ置ケリ

漁業局長ハ沿岸漁業臨檢ノタメ本日「リオ」出帆南下セリ不日「サントス」着ノ筈本使ノ依頼ニヨリ沿岸及港湾總監ハ漁業局長ニ宛テ本邦漁夫ニ関シテハ諸事寛大ニ取計フ可キ旨電訓アリタリ故ニ若シ事故ノ生ジタル場合ニ

ハ貴官ハ「サントス」へ出張右御含ミノ上ニテ漁業局長ト可然様取計アリタシ

其後七月中旬漁業局長ハ「サントス」ニ着シ斎藤通訳生立合ノ上本邦漁夫等ニ就キ一々取調ベヲナシタル後本邦漁夫七十七名中帰化申請済ノモノ五十余名ニ対シテハ帰化証書ノ未ダ下附セラレザルニ拘ラズ漁業認可ノ本免状ヲ交附セラレ其ノ他約二十名（来伯後未ダ二年ヲ経ズシテ帰化ノ資格ナキ者）ニハ仮従業免許ヲ交附セラレタル旨去ル七月三十日附春日副領事ヨリ当館へ報告アリタリ（藤田総領事ハ内地視察旅行ニテ不在中）

依之見レバ沿岸總監並漁業局長ノ親切ナル好意ニヨリ「サントス」ニ於ケル本邦漁夫等モ当「リオ」州ニ於ケル本邦漁夫等ト均シク特種異例ナル好取扱ヲ蒙リ今後安ンジテ従業シ得ルノ認可ヲ得ルニ至リタルハ実ニ欣幸トスル所ナリ右ニ関スル詳細ハ「サンパウロ」総領事館ヨリ既ニ報告アリタルコトト被存候故茲ニハ其ノ大要ノミ申進候
右及報告候 敬具

四〇三 八月二十三日 在サンパウロ藤田総領事ヨリ
内田外務大臣宛

移民保護上移民会社ノ新着移民配耕ニ付事情
具申並事前ニ総領事館ノ認可ヲ受クベキ様改
善方ニ関シ請訓ノ件

機密第四号

（十月二十一日接受）

大正十年八月二十三日

在サンパウロ

総領事 藤田 敏郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

移民保護ニ関スル件

当州珈琲耕地ハ其数大小数百有之移民トノ雇用契約ハ耕地ノ位置、樹ノ年齢、間作地ノ広狭、間作物ノ種類、仕払期日ノ長短其他ニ因リ差違有之随テ給料トモ可称珈琲手入賃銀モ同シカラス我移民ハ突然当州ニ渡航スルモノナレハ移民会社ハ移民ノ来着前各方面ヨリ移民ノ申込ヲ受ケ耕地ノ信用、耕地ノ善悪、契約ノ利不利等ヲ査閲シ情実ヲ排シ各移民ヲシテ殆ント同一有利ナル条件ノ下ニ就地セシムルコトヲ念トスヘキ筈ニ有之候ハ申ス迄モ無之候昨年九月小官河内丸ニテ着任致候処其後数日ニシテ移民組合ヨリ移民配

耕表ナルモノヲ製シ届出候間之ヲ調査セシニ耕地ニヨリ条件ニ大ナル差違アリ一見不公平ニ有之候間移民業務代理人山田揚之助ニ種々質問相試候未将来ハ配耕前一応ノ認可ヲ求メラレ度旨相話候処從來ハ総領事館へ届ケ放シニテ相済ミ候モノヲ今更干渉相成候ハ如何ト反問致候間從來ハ不措問成ルヘク移民ノ利益ニモ亦会社ノ便利ニモナルコトヲ欲スル趣意ナレハ充分相談ノ上適當ノ耕地ヲ選定スル様致度ト懇々申聞候処山田曰ク然レハ将来移民ノ配耕等ハ総領事館直営トセラレ度ト申出候間総領事館ハ移民事業ヲ営マス組合ニテ多数耕主ノ申出アル中ヨリ最善ト信スルモノヲ選

ビ当方ニ申出相成候ハハ当方ハ質疑ノ上愈々不利益ナラズト認ムルモノヲ認可スヘシ決シテ無理ヲ主張スルニアラズト申聞候然ルニ山田ハ本件ヲ飽迄誤解シ居ル様子ニ付当地出張ノ海外興業株式会社専務取締役青柳郁太郎へ委曲小官ノ真意ヲ相話候処同人ハ移民ノ事ハ一切関係セズト称シ取合ハズ過般移民組合ヲ解散シ同会社ニ合併セシ後モ移民部長ナルモノヲ設ケ山田ヲ部長トシ青柳ハ「イクアペ」殖民ノコトノミニ当リ移民ノ事務ニハ一切関係不致候元来青柳ハ伯刺西爾拓殖会社ノ重役ニテ「イクアペ」ニ駐在セシカ

同会社ノ海興会社ニ合併後新会社ノ重役トナリ聖市ニ来リ候者ニテ多年移民事務ニ従事スル人々ヨリハ客分扱ヲ受ケ候間移民事務ヲ山田ニ一任スルモノト相見エ申候

今春来着ノ移民中海興ノ配耕ヲ誤解シ其言フカ儘耕地ニ赴カハ賃銀ノ上前ヲ取ラレ不利益ナリト信シ殊ニ一時自由移民ト称セシ無補助移民ノ大部分ハ世間ノ評判ヲ聞キ各自勝手ノ耕地及殖民地ニ赴カントシ紛議ヲ生シ候間小官ハ彼等ニ向ッテ移民配耕ハ当館最善ノ耕地ト認メタルモノニ限り認可シタルモノナレハ安心シテ就耕スヘシト申聞ケ鎮撫致候コトニ有之候現ニ最近河内丸ニテ来着セシ移民一同ニモ移民收容所ニ於テ訓話シタル未移民ノ配耕ハ本官ノ認可シタルモノナレハ疑念ナク夫々就地スヘシト申渡候処總代等ハ其一言ヲ聞キ安堵セシ旨申出候移民ノ多クハ今日ニ於テモ昔日ノ如ク悪辣手段ヲ廻ラスモノト信シ移民会社ノ為スコトハ一々疑心ヲ以テ判断致候モノト被存候間小官ハ誤解ヲ除クコトニ努メ候事ニ有之候右次第ナレハ山田部長等ハ今ヤ当館ノ認可ハ自分ノ責任ヲ輕メ且移民ヲ服従セシムル上ヨリ云フモ効果アルコトヲ熟知シツツモ猶何トナク前例ニ反シ無用ノ干渉ヲ行フモノト信シ屢々人ニモ語り在

「リオ」堀口公使ニモ内信ヲ以テ訴フル所アリトノ事ニ有之候

小官敢テ無用ノ干涉ヲナスニアラス移民並ニ海興会社双方ノ利益ナレカシト存シ誠心誠意配耕ノ協議ヲ受クル次第ニ有之候御承知ノ通り移民会社ハ十数年前ヨリ当地ニ營業シ其勢力ヲ張り居リ小官前任者等モ敢テ之ニ抗スルコトヲ欲セス多年其行フ儘ニ放任セルモノラシク元來当地海興社支店員移民誘入ノミヲ念トシ移民ノ珈琲耕地ニ在ル間ハ多少ノ面倒ヲ見ルモ一度耕地ヲ出デ候上ハ跡ハ野トナレ山トナレ一ニ總領事館ニ押シ付ケ当館ノ処置振ニ対シ彼是非難攻撃ヲナシ更ニ当館ト協同シテ事ヲ計ル精神アルヤヲ疑ハシメ申候過般當國ニ漫遊シ來レル力行會長永田稠ノ如キモ「サンパウロ」ニテハ移民会社中心トナリ總領事館ハ其意ヲ享ケ行動スト批評致候如ク世間ニハ斯ク相見候様子ニ有之候小官ハ着任後前例ヲ無視シ新タニ配耕ナドニ啄ヲ容ルルコト彼等ノ意ニ副ハヌモノト相見エ候小官赴任前海興社長トモ会见移民事業ハ殆ント国家的事業ナレハ利益ヲ薄クシ將來ハ伯國ニ金融機關ヲ設ケ又殖民地ノ數ヲ増スコトアランカ海興会社之カ主トナリ施設セザルベカラズ等ニ鑑

ミ虚心坦懷只管移民事業ノ發展ヲ計ラレ度ク本官モ可及丈努力可致ト相話候次第ナレバ小官ハ無腹藏当地支店員ニモ懷抱スル所ノ意見ヲ述ヘ配耕ノ協議モ其一端ニ有之候今回來着ノ竜江海興会社重役ニモ小官ノ趣旨ノ在ル所ヲ告ケ同氏モ充分之ヲ諒解シタル様子ニ有之候

右配耕ニ輕々シキ事ハ無之候処海興当地支店員中不服ヲ唱ヘ候様ニテハ心外千万ト存候間事ノ性質ニ鑑ミ仰御回訓候若小官ノ所置其當ヲ得ザレバ早速中止可致又適當ナリト御認定相成候ハバ海興社長ヘ其趣御下命相成候様致度ト存候小官十年前在伯公使館在勤中一々配耕ノ協議ヲ享ケ信用アル耕地ノミヘ配耕致候事ニ取極メ小官ノ責任ハ重カリシモ大ニ好成績ヲ挙げ候実例有之小官今ヤ各地巡回ヲ終リ略ホ耕地等ノ情況ヲ審ニ致候間配耕上有力ナル材料ヲ有スト信シ申候

此段具事情及請訓候 敬具

事項一二「メキシコ」革命動乱關係一件

四〇四 一月三日

在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛

カランサ大統領暗殺ノ下手人被疑者ロドルフ

オ、エレーロ少將軍職ヲ剝奪セラレタル件

政公信第四号

(二月二十七日接受)

大正十年一月三日

在墨

臨時代理公使 伊藤 敬一(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

「ロドルフオ、エレーロ」軍職ヲ剝奪セ

レタル件

客年五月ノ當國政變當時「プエブラ」州「トラスカラントング」ニ於テ「カランサ」大統領暗殺ノ下手人ナリト世人ヨリ見做サレ居リ二回軍法會議ニ附セラレタル陸軍少將「ロドルフオ、エレーロ」(Rodolfo Herrera)ハ証拠不十分ノ廉ヲ以テ放免セラレ依然地方ニ於テ軍務ニ從事中ナリシ処今回「オブレゴン」大統領ハ同人ガ前記「カラン

一二「メキシコ」革命動乱關係一件 四〇四 四〇五 四〇六

サ」大統領ニ対セル態度ハ卑怯ニシテ軍人ノ体面ヲ汚スモノナリトシ(其裏面ノ事情ハ兎モ角表面ハ)其軍職ヲ剝奪致候尚是ヨリ先投獄セラレ居リシ「カランサ」軍ノ内相其他軍人何レモ保釈セラレ之ニテ「カランサ」暗殺ニ關スル事件ハ落着セルモノト認メラレ候

右及報告候 敬具

四〇五 一月八日

在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

墨國大統領オブレゴン重患ノ趣報告ノ件

第三号

(一月十日接受)

現大統領病氣ニテ転地療養ノ為支那及独逸公使ハ国書捧呈ヲ延バシ居ル処非常ニ重患ニシテ或ハ一個月半モ保タサルベシトノ噂アリ若シ不幸アラバ再ビ騷擾アラント憂惧セラ

在米大使ヘ電報セリ

四〇六 一月十一日

在墨國伊藤臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)